

# 総務委員会事業計画

総務委員会 委員長 仁平伸幸

昨年は新型コロナウイルスの影響で、先輩方がこれまでの経験をもとに築き上げてきた歴史や伝統を守りつつ新たな手法で事業を開催して参りました。真岡青年会議所は、このような突発的な状況や今後加速化された時代の変化に順応できる人材を創り出すLOMである必要があります。また、様々な情報が混在する現代社会において、幅広い年代の人達にLOMの活動を迅速かつ正確に県東地域に住む人たちに伝える広報が必要です。

まず、真岡青年会議所が良き歴史と伝統を理解し変化に順応できる組織になるために、組織の中核である総務委員会が率先して新しいことにチャレンジし引っ張っていくことで、真岡青年会議所を活発で盤石な組織とします。そして、真岡青年会議所の存在をより多くの県東地域の方々に認知させるために、instagramとYouTube、FM真岡を活用した広報活動を行うことで、真岡青年会議所の活動を幅広い世代の人たちに理解してもらい会員拡大運動に繋がります。さらに、これから始まる1年間の活動を再認識するために、良き伝統と厳粛さの中で時代に合った新しい様式を取り入れた1月通常総会を開催し、委員会ごとの事業方針を明確化させベクトルを一つの方向へ導きます。また、質の高い次年度体制を整えるために、次年度理事予定者が最も輝きかつ緊張感のある9月臨時総会を開催し、次年度に向けての向上心と責任感を振るい立たせます。そして、1年間の総括と次年度への活動方針を固めるために、この1年間でチャレンジしてきたことをニューノーマルとした12月臨時総会を開催し、LOMメンバー全員の意識改革と意欲向上を図ります。

今年に変革の1年と位置づけをし、新しい事へチャレンジしやすい環境を作り、様々な困難や弊害を乗り越え、これまで先輩方が築き上げてきた伝統を残しつつニューノーマルな時代であっても、伝統と進化を共存させられる真岡青年会議所を作り上げていきます。

## <事業方針>

1. 柔軟かつ芯のあるLOM運営
2. 機会の提供となる広報活動
3. 可能性を高める機会の創造
4. 事業で魅せる会員拡大
5. 全国大会とちぎ宇都宮大会の成功に向けて協力